

## 外国語活動学習指導案

学校名	世羅町立世羅小学校		
指導者	T 1	パワーアップリーダー	石橋 恒也
	T 2	A L T	Yamaoka Randall
	T 3	J E T	中間 みどり
	T 4		荒谷 誠

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 17 日 (火) 5 校時 (13 : 55 ~ 14 : 40)
- 2 学 年 第 6 学年 A 組 (28 名)
- 3 単元名 Turn right. 道案内をしよう (We Can ! 2 / Hi, friends ! Lesson 4)
- 4 単元について

○ 本単元は、2 学期から新しく来られる A L T Brittney 先生に、世羅小学校から町内の各施設までの道案内をする活動をゴールに設定している。この活動を通して、児童には、「A L T の先生に世羅小学校の周りの施設を知ってもらいたい。」「A L T の先生の役に立つことができた。」という気持ちを持たせることができる。自分たちの地域を知ってもらうことができた喜びや分かり合えた喜びを感じ、学ぶことを通して、コミュニケーションの楽しさを感じることができる単元である。

本単元では、“How can I get to the ~?” や “Turn right at the second corner.” などの表現を用いて相手が行きたい場所を聞き、そこまでの道案内をする。本単元で用いる表現は、自分が見知らぬ土地で目的地を尋ねたい場合や逆に土地勘がない人に目的地を説明する場合の両方に使うことができる。

○ 本学級の児童は、第 1 学年の時から年間 30 時間程度の外国語活動を行っており、身の回りの簡単な英語を使ってゲーム等を行い、楽しんで活動してきた。これまでの学習を通して、何とか英語で話したり聞いたりして相手に伝えることを大切にした活動を行ってきた。積極的に英語で会話をしようとする児童が多いが、苦手意識があり活動に消極的な児童もいる。個別に対応して励ましたり、ヒントを出したりしながら、できるだけ楽しく外国語活動ができるようにしている。

外国語活動に関するアンケート結果では、授業に進んで参加しているという児童の肯定的評価が高い (とても当てはまる 83%, やや当てはまる 17%) ので、主体的に活動できていると思われる。反面、授業以外で英語を使ってみたいという児童の肯定的評価がやや低い (とても当てはまる 34%, やや当てはまる 52%, あまり当てはまらない 10%, 全く当てはまらない 3%) ので、英語を使って伝えられることの楽しさを実感させていく必要がある。

○ 指導に当たっては、単元の初めに、新しく来られる A L T Brittney 先生に世羅町を案内しようと呼びかけ、Brittney 先生が初めて訪れる世羅町で新生活を始めるときに困ることを予想し、少しでも助けてあげたいという気持ちを持たせたい。児童一人一人に明確なゴールを持たせることで、学習の必然性を高め、学習意欲を持続させるようにする。

実際の道案内では、目的地まで連れていくということはほとんどない。つまり、多くの情報を一度に伝えなければならない。交差点を何個通過するか、どちらに曲がるか (Turn right at the third corner.), どちら側にあるか (You can see it on your left.) など、英語が苦手な児童にとっては説明したり聞いて動いたりするのが難しいと予想される。練習の段階では、教室の机を並べて町に見立て、説明する側と案内される側の両者が目的地まで実際に移動しながら、道案内の指示を一つ一つ確認していくようにさせる。終盤では地図上を指でなぞりながら、道順を説明させる。案内され

る児童は、自分の地図を見ながら説明された通りに行動してみる。うまく言えなくても何とか説明し、分からなかったら何度も聞き返すことが大切であることを伝え、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度も養いたい。

## 5 単元の目標

【コ】積極的に目的地までの経路を尋ねたり、説明したりするために伝え合おうとする。

【慣】目的地までの経路を尋ねたり説明したりする表現に慣れ親しむ。

【気】英語と日本語では、建物の表し方が違うことに気付く。

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
積極的に目的地までの経路を尋ねたり、説明したりしようとしている。	目的地までの経路を尋ねたり、説明したりする表現に慣れ親しんでいる。	英語と日本語では、建物の表し方が違うことに気付いている。

## 7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	新しく来られるALT Brittney先生に世羅町内のいろいろな場所への経路(行き方)を説明する。
目指す発話例	Excuse me. How can I get to the hospital? Ok! Go straight and turn right at the third corner. You can see it on your left. Thank you! You are welcome.

## 8 言語材料(下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>where is your ~.</u></li> <li>• <u>It's ~ the pencil case.</u></li> <li>• <u>How can I get to the ~.</u></li> <li>• <u>Go straight and turn left at the third corner.</u> <u>You can see it on your left.</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物 (school, bookstore, restaurant, police station, convenience store, flower shop, hospital, supermarket, fire station, department store, post office, station, library, stadium, amusement park, aquarium, swimming pool など)</li> <li>• ものの位置 (in, on, under, by)</li> </ul>

9 単元計画（全8時間 本時7/8時間）

時	目標（◆）、主なやり取り等	評価規準 評価方法	発話例
1	<p>◆ものの位置を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。</p> <p>・自分の文房具を探すゲーム</p> <p>ものの位置を聞いたり答えたりしよう。</p> <p>・Where is your ～ ? It's ( in , on , under , by ) the ～.</p> <p>・文房具探しゲーム</p>	<p>【慣】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	<p><u>Where is your (pen) ?</u> It's ( <u>in , on , under , by</u> ) the pencil case.</p>
2	<p>◆単元終末の活動を知り，単元の見通しを持つ。</p> <p>新しく来られるALTの先生に世羅を案内しよう。</p> <p>○新しく来られるALTが新しい場所で困ることを予想し，少しでも助けてあげたいという気持ちを持つ。</p> <p>○建物を表す表現を知る。</p> <p>・建物の名前をリピートしよう。</p> <p>・世羅町にある school の名前は？世羅小，甲山小</p>	<p>【コ・気】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	<p>What is this ? It's ( school , bookstore , restaurant , post office police station , station convenience store flower shop , hospital , supermarket , library fire station , department store , library , stadium amusement park , aquarium , swimming pool )</p>
3	<p>◆建物を表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>・自分の町を作ろうゲーム</p> <p>建物の名前を表す表現に慣れよう。</p> <p>・建物の名前を互いに言いながら，自分の町を作ろう。</p>	<p>【慣】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	<p>Go straight. <u>Turn right at the second corner.</u> <u>You can see it on your left.</u></p>
4	<p>◆道案内の表現を知る。</p> <p>道を案内する表現を知ろう。</p> <p>・どこで曲がるか，どちら側にあるか答えよう。</p>	<p>【気】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	<p>Go straight. <u>Turn right at the second corner.</u> <u>You can see it on your left.</u></p>
5	<p>◆道案内の表現に慣れ親しむ。</p> <p>・言われた通りに動こうゲーム</p> <p>道を案内する表現に慣れよう。</p> <p>・教室を町に見立て，グループで案内する方と案内される方に分かれて動いてみよう。</p>	<p>【慣】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	
6	<p>◆道案内の表現に慣れ親しむ。</p> <p>・地図上で言われたとおりに動こうゲーム</p> <p>道を案内する表現に慣れよう。</p> <p>・道案内を聞き，地図上でその通りに動いてみよう。</p>	<p>【慣】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	<p><u>How can I get to the hospital?</u> Go straight. Turn right at the second corner. You can see it on your left.</p>
7 本 時	<p>◆道案内の表現を使って，相手が希望する場所に案内することができる。</p> <p>・世羅町の地図を使って案内する。</p> <p>友だちをALTの先生に見立てて道案内をしよう。</p> <p>・案内された方が，地図上にカードを置こう。案内した方と同じだったらポイント。</p>	<p>【慣】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	<p><u>How can I get to the hospital?</u> Go straight. Turn right at the second corner. You can see it on your left.</p>
8	<p>◆道案内の表現を使って，相手が希望する場所に案内することができる。</p> <p>ALTの先生に世羅を案内しよう。</p> <p>・新しいALTの先生を実際に案内しよう。</p>	<p>【コ】</p> <p>行動観察・ 振り返りカード</p>	

## 10 本時の計画

### (1) 目標

道案内の表現を使って、相手が行きたい場所までの経路（行き方）を説明する。

### (2) 評価規準

【慣】道案内の表現に慣れ親しみ、相手が行きたい場所までの経路（行き方）を説明している。

### (3) 準備物

世羅小学校付近の地図（児童用・黒板掲示用）、振り返りカード

### (4) 展開

学習活動	指導者の役割				・指導上の留意事項 ◆評価規準（評価方法）
	T 1	T 2 (ALT)	T 3 (JET)	T 4	
1 挨拶をする。 ・日直の児童が中心となってやり取りを進める。	English leader please.				・ Good job! など反応の良さを評価する。
	<使用英語例> Good afternoon , everyone. What day is it today? What's the date today? How is the weather today? What time is it now?				
2 ペアトークを行う。 （全単元で学習した can を使ったやり取り）	会話例を示す。	Let's talk !		ペアがない場合は児童役になる。	・既習内容を活かし、相手への反応を大切にしながら、ペアトークをさせる。
	<使用英語例> Hi ! Can you play the piano ? Yes, a little. How about you ? Me too.				
3 単元の流れを確認し、本時の見通しを持つ。	友だちをALTの先生に見立てて道案内をしよう				
4 指導者のやり取りを聞いて、本時の表現をイメージする。	<使用英語例> T2 : Excuse me. How can I get to the hospital? T3 : OK ! Go straight and turn left at the third corner. You can see it on your left. T2 : Thank you !				・会話を十分覚えていない児童のために、黒板に会話例を掲示しておく。  ◆道案内の表現に慣れ親しみ、相手が行きたい場所までの経路を説明している。（行動観察）
5 ペアになって、相手の道案内をする。				ペアがない場合は児童役になる。	

6 本時の学習を振り返る。	Let's do 振り返り.				
<p><b>【児童の振り返り（例）】</b> 相手の行きたい場所までの道案内がうまくできた。新しいALTの先生に世羅を案内する自信が ついた。今日の言い方をまた使っていきたい。</p>					
7 終わりの挨拶をする。	<p><b>&lt;使用英語例&gt;</b> T3 : That's all for today. See you next time. Good bye.</p>			発表する 児童を指 名する。	・振り返りをチェック し、意欲的な振り返 りをしている児童 をほめる。

## 11 板書計画

<p><b>&lt;本時の英語使用例&gt;</b> Excuse me. How can I get to the hospital? OK! Go straight and turn left at the third corner. You can see it on your left. Thank you !</p>	<p>世羅小学校付近の地図</p>	<p><b>&lt;ペアトークの英語使用例&gt;</b> Can you ~ ? Yes , I can. I can ~. well. a little. No , I can't. I can't ~. How about you ? Me too. I see.</p>
--	-------------------	---